

【勝利を得る者となろう】

名前 _____

【聖書箇所】 黙示録 20:10～21:7 (新改訳第3版)

20:10 そして、彼らを惑わした悪魔は火と硫黄との池に投げ込まれた。そこは獣も、にせ預言者もいる所で、彼らは永遠に昼も夜も苦しみを受ける。20:11 また私は、大きな白い御座と、そこに着座しておられる方を見た。地も天もその御前から逃げ去って、あとかたもなくなった。20:12 また私は、死んだ人々が、大きい者も、小さい者も御座の前に立っているのを見た。そして、数々の書物が開かれた。また、別の一つの書物も開かれたが、それは、いのちの書であった。死んだ人々は、これらの書物に書きしるされているところから従って、自分の行いに応じてさばかれた。20:13 海はその中にいる死者を出し、死もハデスも、その中にいる死者を出した。そして人々はおのこの自分の行いに応じてさばかれた。20:14 それから、死とハデスとは、火の池に投げ込まれた。これが第二の死である。20:15 いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。

21:1 また私は、新しい天と新しい地とを見た。以前の天と、以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。21:2 私はまた、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとを出て、天から下って来るのを見た。21:3 そのとき私は、御座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。「見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、21:4 彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しきもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。」21:5 すると、御座に着いておられる方が言われた。「見よ。わたしは、すべてを新しくする。」また言われた。「書きしるせ。これらのことばは、信ずべきものであり、真実である。」21:6 また言われた。「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。わたしは、渇く者には、いのちの水の泉から、価なしに飲ませる。21:7 勝利を得る者は、これらのものを相続する。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。」

●黙示録について

- 1: イエスキリストについての啓示と、この世の終わりについて教える
- 2: 繰り返される「キーフレーズ」・・・「勝利を得る者は」

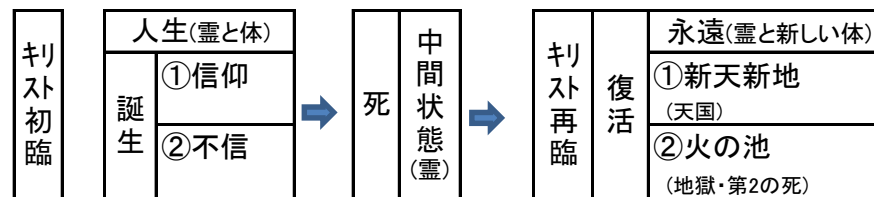
2:7、2:11、2:17、2:26、3:5、3:12、3:21、21:7

●この世の終わり、死後に起こる事を学ぶ上で大切な事。

世の中の人々は、「死後に起こる事」や「この世界の終わり」について興味を持つ人は多い。聖書はそれらの事について明確に教える。聖書は誰もが一度死ぬ事、キリストがもう一度この地上に来られる時に今の世は終わり、神の前に裁きを受ける事、イエスキリストを信じ罪ゆるされ、いのちの書に名の記された者は、永遠に神と共に生き、そうでない者は永遠の滅びにおかれる事を教える。

しかし、聖書にはやがて起こる「この世界の終わり」や「死後に起こる事」以上に、重要な事として教えている事がある。それは、私達が、「今」どのように生きるべきかについてである。私達は黙示録等を通して「この世の終わり」「死後に起こる事」について学び、いつその時を迎えても良いように、それに備えて「今」という、この時を大切に生きる者となろう。

●聖書が教える終末観



1: 私達は、勝利を得る者となろう。21:7

主イエスの復活後、聖霊が注がれ、教会は誕生し爆発的な勢いをもって広まっていった。しかし、しばらくすると迫害が始まり主イエスを信じるがゆえに殉教する者もでてきた事が使徒の働きに示されている。

その後、紀元 70 年頃になると皇帝ネロの迫害等により、ペテロ、パウロなど多くの者が殉教していった。黙示録を記したヨハネ自身もパトモスという島に流刑されていた。ヨハネは、迫害の中、最後まで信仰を守り通した者たちと、途中でキリスト信仰から離れていった者たちを見聞きしていた。そして、当時の人々や、それに続く私達に、迫害や試練の中にあっても、最後までキリストへの信仰を守り続け、信仰の戦いに勝利するように、神に導かれて記したのが黙示録である。

しかし、死に直結するような迫害や試練に勝利する事は簡単な事ではない。事実、教会の柱として用いられたペテロですらも、主イエスの十字架の前夜、自らに危険が迫った時には、主イエスの事を 3 度も知らないと言った。しかし、ペテロが裏切る事知りつつも、主イエスはペテロを愛して足をあらわれた。又、十字架上で赦しを祈られ、復活後はペテロに語りかけ再び立ち上がらせた。又、聖霊を注がれ、聖霊によって強められたペテロ達は、様々な困難や殉教をも乗り越えて福音を証する者となった事が聖書には記されている。(ヨハネ 13 章、18 章、19 章、21 章、使徒の働き全般)

ヨハネをはじめとする聖書記者は、迫害のゆえに主イエスを否む事があったとしても尚も主イエスは赦して下さり、聖霊の助けによって誰でも勝利できるという希望を聖書に記したのである。

ヨハネが天に召された後も、ローマ帝国内において壮絶な迫害が続いた。しかし、聖書と聖霊によって励まされ強められた多くのキリスト者は、迫害や死の恐怖にすら勝利していった。やがて紀元 313 年にローマ皇帝コンスタンティヌス 1 世のミラノ勅令によりキリスト教は公認され、後にローマ帝国の国教となった。キリスト者は、武力ではなく祈りと、キリストを信じる生き様によって、文字通りローマ帝国に勝利したのである。

私達の人生にも時に、様々な試練や主イエスを信じ従うがゆえに迫害に会う事がある。しかし、聖書の約束をしっかりと握り、聖霊に助けを祈り求めて、信仰の戦いを戦い抜き、私達も勝利を得るものとなろう。

●聖書の約束 黙示録12の11

兄弟たちは、小羊の血と、自分たちのあかしのことばのゆえに彼に打ち勝った。彼らは死に至るまでもいのちを惜しまなかった。

●聖書の約束 使徒 1 の 8

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

※当時、証人という言葉は、殉教者と同義であったと言われる。

【チャレンジしよう】

あなたにとって、様々な事を乗り越えて、神様に従っていきたい事柄は何ですか。その為に、聖霊の力が与えられるように祈り続けましょう。神様は、必ず聖霊の力を与えて勝利を得させて下さいます。(参考:ルカ 11:13)
